

最低賃金 知っていますか？ は国が法に基づいて定める賃金の最低額です

2019年
10月5日より

鳥取県の
地域別最低賃金は
minimum wage

790 時給 円

午後10時～午前5時に
勤務する場合
深夜割増25%を加算

988 時給 円

特定(産業別)最低賃金は

一鳥取県電子部品・
デバイス・電子回路、
電気機械器具、
情報通信機械器具製造業
最低賃金一

790 時給 円

2018年12月28日発効

※現在、2019年特定(産業別)最低賃金について審議中

「最低賃金」には、パートやアルバイト、外国人労働者を含め、すべての「労働者」に適用される「地域別最低賃金」と、特定の事業もしくは職業ごとに設定される「特定(産業別)最低賃金」があります。特定(産業別)最低賃金に当てはまる事業や職業に就いている労働者は、地域別最低賃金と特定(産業別)最低賃金の高い方の額以上の賃金が支払われることになっています。

□最低賃金って何？

具体的には、実際に支払われる賃金から、以下の賃金を除外したものが最低賃金の対象となる。

- ①臨時に支払われる賃金(結婚手当等)
- ②1ヶ月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)
- ③所定労働時間を超える時間の労働に対して支払われる賃金(時間外割増賃金、深夜割増賃金(22時～5時)等)
- ④所定労働日以外の日の労働に対して支払われる賃金(休日割増賃金等)
- ⑤精皆勤手当、通勤手当および家族手当

最低賃金とは、使用者が労働者に支払わなければならない賃金の下限額です。金額は都道府県ごとに異なり、最低賃金審議委員会による審議を経て毎年改定されます。経済の好循環を確立するためにも、連合は最低賃金の大幅な引き上げが不可欠であると考えています。

あなたの仕事、 ディーセントですか？



ディーセント・ワークとは、「働きがいのある人間らしい仕事」という意味です。

連合も加盟するITUC(国際労働組合総連合)では、毎年10月7日を「ディーセント・ワーク世界行動デー」と定め、一斉行動を呼びかけています。

平和で安定した世界でなければ、ディーセント・ワークの実現はできません。また、ディーセント・ワークが実現できなければ、「平和」もほど遠いと考えます。

連合鳥取は、平和な世界、核兵器のない未来、安心して暮らせる毎日を、みなさんと一緒につくっていきます！

～地協で“街宣”を実施します～

- ・東部地協 10月下旬予定
- ・中部地協 10月 4日(金) 18時00分～／JR倉吉駅前
- ・西部地協 10月 7日(月) 8時00分～／JR米子駅前

すべての人に平和と ディーセント・ワークを

一つでも☑がつかないなら、あなたの仕事、ディーセントではないかも！?

CHECK LIST

- ☑ 1. 安定して働く機会がある。
- ☑ 2. 収入は十分(生活し、今後に備えて貯蓄ができる賃金)である。
- ☑ 3. 仕事とプライベート(家庭生活)のバランスが取れている(長時間労働に苦しんでいない)。
- ☑ 4. 雇用保険、医療・年金制度に加入している。
- ☑ 5. 仕事で性別(女性だから、男性だから)、性自認(LGBTI)による不当な扱いを感じることはない。
- ☑ 6. 仕事で身体的、精神的危険を感じることはない。
- ☑ 7. 働く人の権利が保障されていて(組合に入れる、作れる、会社と交渉できる)、職場での相談先がある。
- ☑ 8. 自己の成長、働きがいを感じることができる。

10月7日はディーセント・ワーク世界行動デー

2020政策・制度要求

鳥取県との部局交渉

8月19日(月)、本川博孝会長は平井伸治鳥取県知事に「2020年度政策・制度要請事項(30項目)」を手交しました。

そして、この度、それぞれの項目について担当部局と意見交換を実施し、要請項目について説明をして理解を求めました。



〈鳥取県担当部局との意見交換〉

部 局	県の出席者	連合鳥取出席者(産別責任者)	連合鳥取出席者(事務局)
■8月29日(木)			
教育委員会	教育長 他	井上匡央(鳥教組執行委員長) 小谷明寛(〃 書記長) 長屋幸美(J A 鳥取労連書記長)	吉田 正(副事務局長) 馬場一憲(副事務局長)
■9月2日(月)			
県土整備部	県土整備部長 他	桑村紀幸(副会長・労働政策局長) 林 大介(副会長・U A ゼンセン) 浅井清伸(自治労鳥取県本部委員長代行) 廣澤寿志(鳥取県交通労協協議長)	田中 穂(事務局長) 吉田 正(副事務局長) 馬場一憲(副事務局長) 山田秀之(副事務局長)
交流人口拡大本部	交流人口拡大本部長 他	桑村紀幸(副会長・労働政策局長) 林 大介(副会長・U A ゼンセン)	
危機管理局	危機管理局長 他	桑村紀幸(副会長・労働政策局長) 林 大介(副会長・U A ゼンセン)	
総務部	総務部長 他	桑村紀幸(副会長・労働政策局長) 林 大介(副会長・U A ゼンセン) 江口真也(自治労鳥取県本部書記長)	
令和新时代創造本部	令和新时代創造本部長 他	桑村紀幸(副会長・労働政策局長) 林 大介(副会長・U A ゼンセン) 高濱加奈子(連合鳥取執行委員)	
生活環境部	生活環境部理事監 他	桑村紀幸(副会長・労働政策局長) 林 大介(副会長・U A ゼンセン)	田中 穂(事務局長) 吉田 正(副事務局長) 馬場一憲(副事務局長) 山田秀之(副事務局長) 佐賀 馨(副事務局長)
農林水産部	農林水産部長 他	桑村紀幸(副会長・労働政策局長) 林 大介(副会長・U A ゼンセン) 里田齊昭(J A 鳥取労連執行委員長)	
子育て・人材局	子育て・人材局長 他	桑村紀幸(副会長・労働政策局長) 林 大介(副会長・U A ゼンセン) 吉田孝博(全国一般鳥取地方労組執行委員長) 高見信正(全国一般鳥取地方労組書記長)	
会計管理局	会計管理者 他	桑村紀幸(副会長・労働政策局長) 林 大介(副会長・U A ゼンセン) 浅井清伸(自治労鳥取県本部委員長代行)	
■今後の予定 10月28日(月)／ 地域づくり推進部・福祉保健部・商工労働部			

東部地協／推薦議員団と「意見交換会」を実施 ～政策制度要求のとりまとめに向けて～

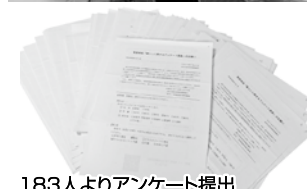
東部地協は8月27日、ホテルモナーク鳥取で推薦議員団との意見交換会を開催しました。意見交換会には推薦議員7人と地協役員が出席し、東部の市町へ提出する「2020年度政策制度要求素案」を検討しました。

今年は地協組合員約300人に「暮らしに関するアンケート調査」を実施し、直接組合員から行政への要望事項を調査しました。

自由記入欄には「高齢者が免許返納したのちの交通手段について考えてほしい」「循環バスのコースが北側に偏っている。駅南方面も運行してほしい」など具体的要望事項が多く記され、今後は地協として政策制度要求として取りまとめていく予定です。



意見交換会の様子



183人よりアンケート提出

全国に北方領土返還の輪を広げよう！ ー平和行動in根室に参加ー

◇開催日 9月7日(土)、8日(日)

◇開催内容／場所

- ・学習会／北方四島交流センター
- ・2019平和ノサップ集会／納沙布岬「望郷の岬公園」

◇参加者 3人



情報労連・NTT労働組合
砂口 光平さん(写真右)



択捉島の出身者から「北方領土問題が未解決のまま74年が過ぎ、終戦時には1万数千いた元島民が6千人を割ったと聞いた。その島民の人たちが存命のうちに帰還を果たしていただきたいと強く思った。また、根室から納沙布岬の間、多くの「北方領土返還」の看板を目にし、現地でないとわからない、早期返還を望む地元の熱意を肌で感じることができた。

青空の下46人が 元気いっぱいリフレッシュ！

9月14日(土)、旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部(鳥取市)に組合員・OB・事業団体のみなさんが集い、毎年恒例の「連合鳥取杯親睦ゴルフ大会」を開催し、親睦を深めました。



松本さん(左)と松崎浩哉副会長

【結果】(敬称略)

- 優勝 松本栄二(紙パ連合)【写真上】
GROSS:84 HDCP:15.6 NET:68.4
第2位 名和学史(電機連合)
GROSS:82 HDCP:10.8 NET:71.2
第3位 福田光明(中国労働金庫OB)
GROSS:87 HDCP:15.6 NET:71.4

※今回は社会貢献活動の一環としてチャリティーを行いました。(チャリティー金 35,500円)
使途については別途執行委員会で報告します。

青年委員会

「政治」と「若者」をキーワードにした
「学習会」に44人が参加

青年委員会は9月8日(日)、県立倉吉体育文化会館において、連合鳥取の田中穂事務局長を講師に「労働組合と政治の関係～若者の政治離れを食い止めるには～」と題した講演とグループワークの「学習会」を開催しました。

「政治」と聞くと固いイメージがありますが、クイズやグループワーク等を取り入れ、青年委員会らしく楽しみながら学習することができました。

実際に今夏の参議院選挙の投票率にまつわる問題であったり、1票がどのくらいの価値(値段)を持つのか考えてみたりと、普段、関心の薄い事柄について学ぶことができました。



講師／田中事務局長



グループワークの様子

田中事務局長の講演を聞いた後は、「若者の投票率を上げるには？」というお題で各班にて話し合いを行い、政治というモノを身近な存在として認識する良いきっかけとなりました。



(寄稿／青年委員会事務局 野口貴宏さん)

住みよい・働きやすい鳥取県をめざして

—労働組合&後援会から100人以上が県議会傍聴—

連合鳥取では、連合のめざす「働くことを軸とする“安心社会”」の実現に向け、連合鳥取の政策・制度について推薦議員のみなさんと共有し、今まで以上に連携の強化を図っていくこととしています。

9月19日(木)開催の「鳥取県議会(9月定例会)」において、連合鳥取推薦の福岡裕隆議員(写真上)が「会派民主」として代表質問を行い、推薦組織のJR連合をはじめ、連合鳥取構成組織から約60人が傍聴に駆けつけました。



ほぼ満席となった傍聴席

福岡議員は「働き方改革をはじめとした就業環境の整備」や「部落差別解消の取り組み」、「政治参加の促進」など働く人の立場に立った質問を交えながら、平井伸治鳥取県知事に県政運営について幅広く問いかけ、答弁を引き出しました。



参加者の声

電力総連・中国電力労働組合
吉田 晴美さん



鳥取県議会の傍聴をして考えたこと。それは、政治は新聞やテレビで語られるだけのものではなく、私たちの生活に直結したものだということである。
“働くことを軸とする安心社会”を実現し、次世代へより良い社会を渡すためにも、推薦議員との連携を継続していくことが重要だと改めて思った。

紙パ連合・米子王子紙業労働組合
内田 卓実さん



若者の政治離れ、選挙での投票率の低下、政治に興味のない人が増えているのは間違いない。
国、県、市、行政を動かし、私たちの代弁をしてくれるのは議員だけだと改めて感じさせられた一日だった。投票することで政治に参加できることを組合員に訴えていこうと思った。

JR連合・JR西労組
柏木 涼平さん



初めて県議会の傍聴に参加した。
JRの政策について、福岡県議会議員がしっかり発言していただいていることに感銘を受けた。
直接、県議会の雰囲気を感じることができ、政治がより身近になった。

産別リレー

情報労連
におじゃまします

情報産業労働組合連合会

2019～2020年度キャッチフレーズ

D³※ そして未来へ ～信頼と共感を得る産別運動をめざして！～

※ D³ (ディーキューブ) Dream「夢・希望・目標」をもって、Discover「発見・創造」し、Do「行動・実践」する。

情報産業労働組合連合会(情報労連) 中央本部 www.joho.or.jp

情報労連ブロック支部

全国組合

情報労連都道府県協議会

NTT労組
通建連合
KDDI労組
NTT関連サービス労協
Def労組
アイネス労組
ソフトバンク労組



マスコットキャラクター「結ちゃん」

県協議会加盟組合

全国組合の地方組織

情報労連は、全国で257組合・組合員約20万人(2018年9月現在)で組織されています。

加盟組合には、NTT労組などのように単一の労働組合として、全国各地に支部や分会組織を持つ「全国組合」と、情報労連の地方組織として全国9ブロック支部と、その下に、47都道府県に設置した協議会にそれぞれ加盟する「県協議会加盟組合」があります。

これらの労働組合は情報労連の運動方針のもとについてそれぞれ自主的に経営者との交渉や、さまざまな活動を行っています。

また、情報労連は、連合(日本労働組合総連合会)や各国の情報通信等の労働者で構成している国際労働組合「UNI(ユニオン・ネットワーク・インターナショナル)」に加盟しています。

今回は…私鉄総連をご紹介します



湯原 俊二

— りょくひ 緑肥の想い —



通勤・通学中のみなさんへ
訴えています！

「野党再結集の第一歩」

立憲民主党、国民民主党、社会保障を立て直す国民会議(野田グループ)が、国会活動において統一会派になりました。安倍政権を倒して政権を奪還し、政治を変えることを最優先しなければなりません。好き嫌いや政策が少々違うからと割れるのではなく、大きな受け皿を作り、活発な議論をして決まったことは全員で貫く、そういう政治文化にしなければなりません。

私が考える基本政策は次のとおりです。

- すべてにおいて次世代につながる継続性を考える。
- 政治行政を透明化する。
- 子育て教育、雇用、年金医療介護など社会保障を優先する。
- 人権を尊重し少数者の声を反映する。
- 中央集権ではなく、地方分権を大胆に進める。
- 地球規模で環境を考える。
- 自衛隊は専守防衛でアメリカの戦争に巻き込まれない。

こうした基本政策をざっくりと共有する大きな受け皿になる政党を作らなければなりません。

“ザ・議員”

福間 裕隆

鳥取県議会議員

改選後の初代表質問

9月定例県議会で、会派「民主」の代表質問者として登壇しました。全力投球の発言をさせていただくことができました。

労働者尊重の働き方改革の推進、改正最低賃金の完全実施、教員の長時間労働是正、投票率向上と政治参加の促進など、連合鳥取の「政策・制度要求」の課題も織り込ませていただき、多彩な内容とすることができました。ご助言、ご指導にお礼を申し上げます。

そして、当日は、連合鳥取をはじめJR西労組、部落解放同盟鳥取県連合会、鳥取県断酒会、そして福間後援会等多くのみなさまに傍聴席を埋め尽くしていただき、暖かいエールを送っていただきました。心から感謝を申し上げます。



代表質問する
福間県議会議員
(2019.9.19)

安達 卓是

(たかし) 米子市議会議員

今年の6月市議会で「買い物困難者への地域ごとの支援施策の実施」を求めて、米子市長と当局に尋ねました。

地域で住み続けるためには、高齢者や介助を必要とする人々にとって、地域のスーパーマーケットの閉店撤去は社会問題です。町内では「地域の人々の交流の場づくり」を考えて、今年で5回目となる夏季限定の「青空市場」が開設されました。家庭菜園の朝どれ野菜、ブルーベリー、更には県外からのスイートコーンなどが販売台に載っていました。高齢の方々が互いに手を取り合って言葉を交わす場面があり、酷暑の早朝に、自家製の野菜作りの話や、日頃の健康のことを語り合う小さなコーナーができ、この地域での買い物は、住む人々の活力を呼び起こす起爆剤であると考えます。

少子・高齢化が進行すると買い物困難者は拡大するこの現実を指摘し、米子市長には全庁を挙げて取り組みを強化してもらいたいと質問を行いました。



“青空市場”にて(2019年8月)

てんてんてんてん

「ひとり言」その四

9月に入り朝夕めっきり涼しくなり、秋の訪れを感じている。酷暑の夏を乗り越えたからこそ秋の涼しさは心地よい。四季は、厳しさと優しさを繰り返して与えてくれる。

明日、9月13日は今年の「中秋の名月」十五夜だ。ススキを飾って団子と日本酒。一人でもよし、誰かと二人でもよし。たまらね。

こんな言葉に出会った。

「変えることのできるものについて、それを変えるだけの勇気を与えたまえ。変えることのできないものについて、それを受け入れるだけの冷静さを与えたまえ。そして、変えることのできるものと、変えることのできないものとを識別する知識を与えたまえ。(アメリカの倫理学者ラインホルト・ニーバーの祈りのことば)」

この言葉、秋の夜長にじっくりと考えさせられる。平穏な心、変える勇気、そして見極める賢さがあれば心が豊かになる気がする。私に与えたまえ……。

変えなければならぬものはたくさんある。日常生活の細々したことだから政治まで。変えようとするれば変えられるはずなのに、みんなあきらめてしまっている。変わらないことは退化すること。そのあんな、このままでいいと思っ

んの。遠くから見ていてるだけでは何も変わらないよ。

また「ひとり言」。ひとり言じゃ世の中変わらない。大きな声を出してみるか。

(まだまだ小僧)

